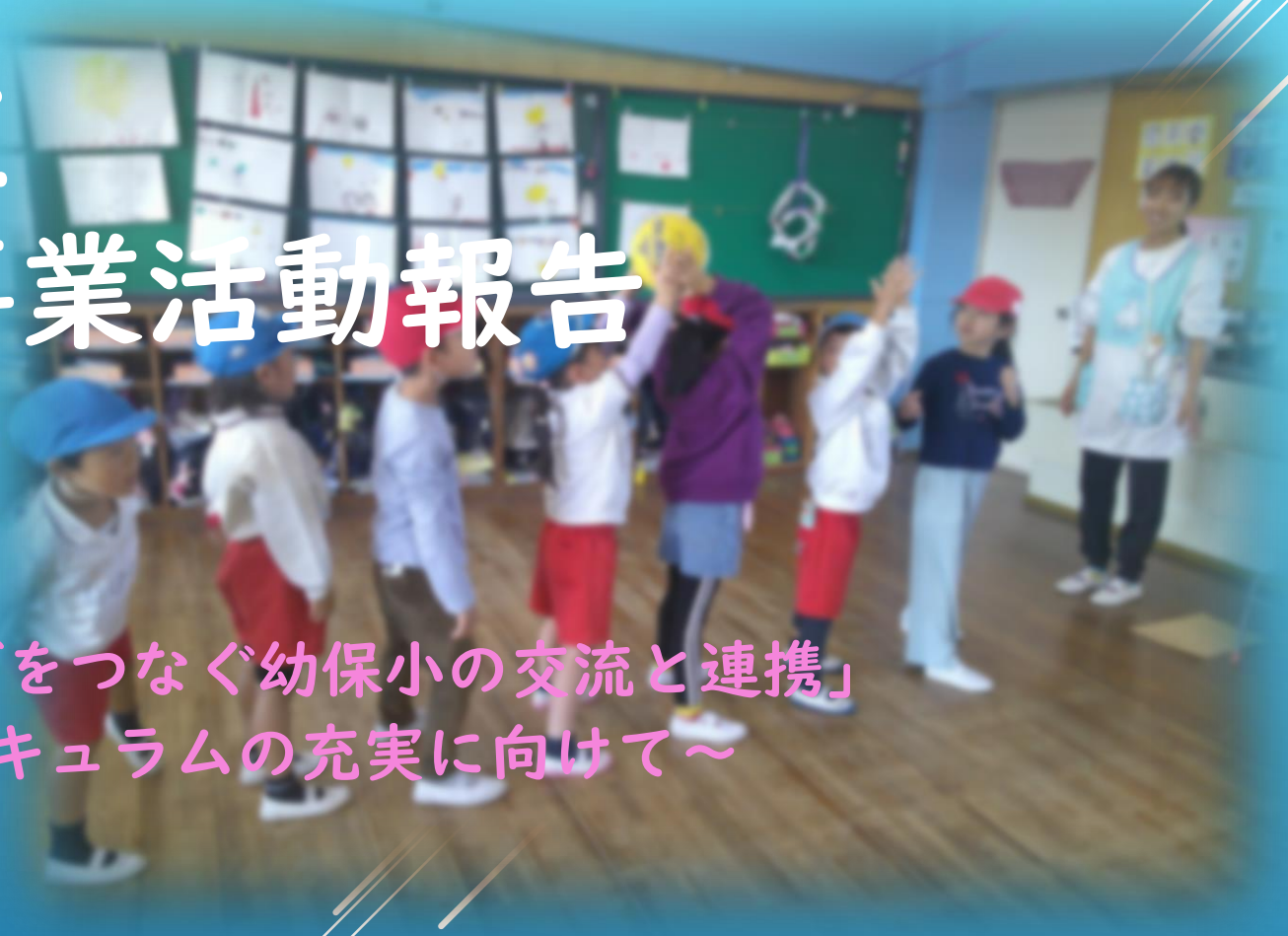


# 令和6年度 栄区 幼保小教育交流事業活動報告

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」  
～架け橋期のカリキュラムの充実に向けて～



## 令和6年度テーマ 「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」 ～架け橋期のカリキュラムの充実に向けて～

### 【テーマ設定の理由】

栄区では、園児・児童の十分な理解と情報の共有化が円滑な接続を支えており、子ども達の健やかな成長を育む基盤となっている。また、幼稚園・保育園での主体性を大切に活動が小学校の教育活動に生かされ、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことにつながることを強く意識し、「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」というテーマで、子どもの姿を通してロックごとの実践を中心に活動を進めている。

また、小学校学習指導要領や幼稚園教育要領、保育所保育指針において、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の重要性が明確に位置付けられ、遊びや学習を通して資質・能力を育成していくことが求められている。さらに国の動向として、年長児4月から1年生3月までの2年間を「架け橋期」とし、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期として、この時期のカリキュラムを充実させていくプログラムが進められている。

こうしたことを踏まえ、園児と児童の交流はもとより、保育者・教職員の交流や連携の大切さと必要性を再認識するとともに、子ども達が自己を発揮しながら主体的に学びに向かうことができるよう、～架け橋期のカリキュラムの充実に向けて～をサブテーマとして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに子ども一人ひとりの姿を大切に捉えながら、幼児期の学びと小学校教育の学びがにつながる架け橋期のカリキュラムの充実を図る取組を進めていきたい。昨年度設定したテーマであり、継続することで充実を図っていけるようにしたい。



## ●交流事業対象 (A～Gブロック別に交流)

- ・こども園 3
  - ・幼稚園 6
  - ・保育所 17
  - ・小学校 14
  - ・特別支援学校 1
- 計 41 園・校



## ●実行委員会(年間5回開催)

- ・年度計画立案
- ・研修会等の計画・運営
- ・ブロック別交流の進め方検討
- ・事業のまとめ、次年度計画

## ●園長・校長会(年間2回開催)

- ・6月・2月に開催
- ・栄区としての活動を協議
- ・各交流ブロックごとに取組を立案、振り返り
- ・情報交換

# 令和6年度 栄区事業報告

## ●第1回 実行委員会 5月1日（水）

- ▶ ・自己紹介 ・令和6年度の事業内容についての確認 他

## ●第2回 実行委員会 6月7日（金）

- ▶ ・園長校長会の運営について ・幼稚園参観、講演会について 他

## ●第3回 実行委員会 10月3日（木）

- ▶ ・ブロックごとの参観について ・講演会打ち合わせ ・役割分担 他

## ●第4回 実行委員会 12月5日（木）

- ▶ ・講演会打ち合わせ ・第2回 園長・校長会の運営について

## ●第5回 実行委員会 3月6日（木）

- ・令和6年度、7年度実行委員参加 ・令和6年度の反省とまとめ
- ・令和7年度にむけて 令和7年度テーマ設定 他

## ★幼稚園・保育園・小学校参観 9月～1月

- ・各ブロックで幼稚園・保育園・小学校参観

※別のブロックからも参観できるようにした

# ●園長・校長交流会

## ▶ ●第1回 園長・校長交流会

6月18日（火）15:00～

▶ 栄区役所 101・102号

- ▶ ・栄地区テーマについて
- ▶ ・栄地区事業計画について
- ▶ ・交流ブロックについて
- ▶ ・推進地区の取組について
- ▶ ・接続期カリキュラム推進地区の取組について
- ▶ ・情報交換 他

## ▶ ●第2回 園長・校長交流会

▶ 2月18日（火） 15:00～

▶ 栄区役所 101・102号

- ▶ ・令和6年度事業報告
- ▶ ・補助金決算報告
- ▶ ・健やか子育て講演会報告
- ▶ ・推進地区からの報告
- ▶ ・各ブロックの話し合い
- ▶ ・情報交換 他

## ●幼稚園・保育園・小学校参観

○各ブロックで幼稚園・保育園・小学校を参観  
※別のブロックからも参観できるようにした

### 【令和6年度 公開した学校・園】

- ・Aブロック 飯島幼稚園
- ・Bブロック やまゆり幼稚園
- ・Cブロック 桂台小学校
- ・Dブロック 上郷小学校
- ・Eブロック 本郷小学校
- ・Fブロック 杜チャイルド園
- ・Gブロック すずかけ保育園

子どもたちの実際の姿を保育士や教員がまず見て知ることが、架け橋期の理解につながると考えました。一昨年度まで区で1つの施設が保育や授業参観を行っていましたが、昨年度から各ブロックごとに公開することにチャレンジしました。また、ブロックを超えて見に行けるよう柔軟な体制で行うことで、より幼保小の繋がりを深めることができました。

## ●健やか子育て講演会

1月30日（木）15:00～ 栄公会堂 講堂

参加者123名（保護者・教員・保育士・行政関係）

講演テーマ

「子どもの自己肯定感をあげる言葉かけ」  
～コーチングコミュニケーション 承認～

講師 一般社団法人シーズグロースコーチング  
代表理事 橋口 奈生先生

橋口先生のお話から、人はコミュニケーションを取る時に言葉と体の2か所で行っていて、安心・安全を感じると心の扉が開き、言葉を深く受け取る。コミュニケーションは「上手に話す能力」よりも「関係を作る能力」が大切だということ。「承認」とは、相手のすべてをありのまま受け止め、認め、そして伝えること。最後に「自分を承認できないと他者を承認できない。如何に自分を許せるか、また自分を労い、自分を大事にすることが大切」と言葉をいただきました。



# 担当者会

「架け橋プログラムデザインシート」を使って子どもの育ちのつながりを語り合いました。





# 2024 幼保小交流報告 Aブロック

飯島小学校、千秀小学校、豊田小学校  
飯島幼稚園、飯島保育園、いいじまルーテル保育園

みんなで ダンス♪



グループに分かれて  
一緒に練習して、  
みんなで楽しくダンスを  
踊りました。

みんなで ドレミの歌♪



身体を動かしながら一緒に  
リズムよくドレミの歌を  
歌いました。

どんぐりごまで 競争！！



1年生が生活科の授業で  
集めたどんぐりで、  
どんぐりごまを作って  
一緒に遊びました。



# 令和6年度 栄区 幼保小教育交流事業活動報告

## Bブロック

小菅ヶ谷小、小山台小、小菅ヶ谷幼稚園、やまゆり幼稚園、エミールの森ひよこ保育園

Bブロックでは以下 3点の活動を行いました。（行う予定です。）

- ① やまゆり幼稚園の園活動公開の見学（全クラス）
- ② ブロックでチューリップの球根を購入後、各校各園に配付し児童園児で植える。  
（・各箇所 約20個）
- ① 園児と児童の交流日を設け、遊んだり学校の様子を知らせたりした。  
（小菅ヶ谷小学校は5年生も幼保小連携の一環として交流した。）  
（5年生は、次期リーダーとして、新一年生の様子を知るための活動としている。）

### ①写真なし

園長から 園生活全般について  
の説明

自由参観 教室・園庭・外部講  
師の体育

### ②写真なし

小山台小学校では、プラン  
ターに植えて、昇降口に通じ  
る道で育てています。

### ③（活動予定 写真は過去のもの参照）



# 交流報告 Cブロック

- ・ 公田小学校
- ・ 桂台小学校
- ・ かつら愛児園
- ・ 桂台保育園
- ・ 公田保育園

他のブロック  
からの参加も  
ありました。

年間で交流を重ねました。

- 6月 小学校にてレクリエーション交流
- 9月 保育園にてシャボン玉交流
- 10月 小学校にて運動会練習披露  
小学校散策
- 11月 小学校にてどんぐり遊び交流  
小学校にて公開授業
- 2月 小学校にて1年生体験交流



11月28日に桂台小学校で公開授業参観を行いブロックで参観しました。保育士からは、「就学した子どもたちの成長を実感できました。」「就学前まで寄り添ってきた子どもたちの姿が見られてうれしかった。」と意見が出ました。また、小学校教員からは、「授業の進捗を確認できた。」「子どもの様子についての意見交換ができた。」と意見が出ました。小中ブロックでの取組の延長ともとらえられ、職員間での円滑な情報交換ができました。





# 2024 幼保小交流報告 Dブロック

- ・上郷小学校      ・庄戸小学校      ・認定こども園いのやま幼稚園いのやま保育園
- ・上郷いちい保育園      ・ふぁみりーさぽーとのあ



「こんにちは、よろしくね！」  
初めての出会い、ドキドキしながらも1年生  
がリードし、会話を広げていきます。



「なかよしになろう」  
「いっしょにあそぼう」  
小学校、幼稚園に互いに訪問し、グ  
ループで遊びました。1年生も年長  
さんも楽しめる遊びを計画しました。  
顔と名前を覚えて、なかよしになっ  
ています！！



5回の交流を通して仲を深め、名前を読んで一緒に遊んでいる姿が  
見られるようになりました。回数を重ねるごとに「また来てほしい  
な」「次は何して遊ぼう」と楽しみが増す様子も見られました。年  
長さんは安心して活動に参加し、1年生は相手意識をもって活動す  
る様子がたくさん見られました。



「たのしんでね、あきまつり」  
1年生のあきまつりのお店に年長さ  
んをご招待♪





# Eブロック活動報告

桜井小学校 本郷小学校  
鍛冶ヶ谷カトリック幼稚園  
静心幼稚園

認定こども園中野幼稚園中野どんぐり保育園

○参観授業（本郷小）



9月 国語「ことばを  
みつけよう」の授業公  
開をしました。桜井小  
の先生方がご参観く  
ださいました。

○交流（桜井小・中野幼保）



7月 中野幼稚園にて教諭の情報  
共有（子どもの育ちや経験等）



10月 中野幼稚園にて交流  
2月小学校にて交流

○交流（本郷小・鍛冶ヶ谷カトリック  
幼稚園）



1月 本郷小にて鍛冶ヶ谷カトリック  
幼稚園生との交流

2月 静心幼稚園生との交流

# 交流報告 Fブロック

- ・ 笠間小学校・西本郷小学校
- ・ いいじまひがしこども園・大船ルーテル保育園・かさまの杜保育園
- ・ 杜ちゃいるど保育園・アスク大船保育園・トモキッズナーサリー



外部講師を招いて、ダイナミックな創作活動をしました。小学生・園児ともに、テーマ（海、動物、食べ物、花）をもとに想像をふくらませながら、拡大したビニール袋に思いを表現しました。各グループで会話を交わしながら活動を楽しむ姿が見られました。講師との打ち合わせで、小学校と園が、児童の実態をもとにそれぞれの考えを出し合ったことが、有意義な交流につながったと思いました。



# Gブロック

本郷台小・本郷特別支援学校・新大船幼稚園・やまゆり保育園・ベネッセ本郷台保育園  
すずかけ保育園・ニチイキッズさくら本郷台保育園



## 相互理解研修

## 交流活動

今年度も・・・

- ☆ 保育園の参観（すずかけ保育園）
- ☆ なかよしチューリップ
- ☆ 小学校・幼稚園・保育園が一堂に会して交流活動などを行いました。



昨年度に引き続き、1年生と年長児の交流会を開催しました。1年生が会を進行する姿や、初めて出会う年長児を優しくリードしてくれる姿に一年間の違いの大きさ、子どもたちの育つ力の逞しさを実感しました。  
終了後には、当日案内してくれた1年生から手紙が届き、年長の子どもたちは大喜び。「返事を書きたい!」と意欲的な姿が見られます。  
交流会が年長児の進学への不安をやわらげ、小学校入学の期待につながっていると実感します。



# 令和6年度 横浜市幼保小連携推進地区事業 栄区 西本郷地区 活動報告

大船ルーテル保育園・いいじまひがしこども園・横浜市立西本郷小学校

## 【推進テーマ】

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」  
～アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの推進～

- ・昨年度より三年間の幼保小連携推進地区の指定を受け、連携事業をスタートし、2年目となる。
- ・昨年度の成果と課題を分析し、子どもの育ちと学びをつなぐ交流と連携について考える。
- ・26の園から本校に入学する子どもたちや保護者の思いや願いに沿った幼保小の交流や連携を目指す。
- ・学校と園が子どもの実態に合わせて計画・交流を実施し、その上で園側、学校側双方のカリキュラムを見直すようにする。

# 〈全体を振り返って〉

## 【成果】

- ・連携事業2年目で見通しをもって、会や交流を進めることができた。
- ・新しく加わった「いいじまこども園」の園児や保育の様子を知ることができ、同じ遊びや経験をしていることが分かった。それを小学校に繋ぐことができた。
- ・6年生や5年生が総合的な活動で、園と関わる姿が見られた。高学年の主体的な活動を通して次年度の幼保小交流に生かしていくことができると考えた。
- ・年長さんと関わることにより、一年前の自分と今を比べたり、相手の立場に立って考えるということができるようになってきた。
- ・入学準備委員会を発足し、幼保小連携について組織で動くことができた。低学年の担任だけでなく、校内全体に連携事業について発信できたことは、大きな成果である。
- ・IT機器を活用し、「すぐーる」やメールで連絡調整をすることができた。
- ・学校が楽しい、学ぶことが楽しい、友達と一緒に楽しい、楽しい学校生活は自分たちで創っていくことができる、と思える子どもが増えてことが最大の成果と考える。

## 【今後に向けて】

今年度は幼保小連携事業を校内で周知し、内容を伝えることができた。来年度は持続可能な事業として引き継ぐために、情報の共有やデータ化を行い、3年間行ってきた事業をまとめていきたい。



# 令和6年度 成果と課題



## 成果

- コロナ禍で留まっていた担当者会が復活し、子どもたちの交流活動が以前よりもスムーズに実施することができました。また、引継ぎの際にも、こうした顔の見える関係作りが大切であることを再認識しました。
- 担当者会では「架け橋リーフレット」を活用したミニ研修を行いました。園や学校が遊びを通してどのように学んでいるのか、互いを知るきっかけになり、その後の交流活動にも役立ちました。
- ブロック毎に保育や授業を見合うことで、子どもたちの過ごしている環境の違いや工夫されている点など、学ぶことがたくさんありました。
- 健やか子育て講演会では、多くの保護者に参加していただきました。今回のテーマは「承認」でした。子どもたちのやる気や自己肯定感を上げる言葉かけ、承認の3つの伝え方、言葉以外の承認など、具体的な例をあげて分かりやすく学ぶことができました。

## 課題

- 令和4年度から「幼保小の架け橋プログラム」が始まっていますが、担当者はもちろんのこと、それ以外の各園・各学校で架け橋期の理解推進を今後一層進めていかなければならないと感じました。
- ブロックごとの公開保育や公開授業に他のブロックからも参観できるようにしていたのですが、他のブロックの公開日程が全ての園・学校に周知しきれなかったという反省点があがりました。そのため、公開日については来年度の第1回の園長・校長会で日程だけは決めることにします。